学校番号	1202

令和３年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	正しい発声法を身につけよう	【歌唱】 校歌 ふるさと 翼をください	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	表現を工夫しながらリコーダーを演奏しよう	【器楽】 C-a-f-f-e-e ボレロ	○	○	○		a: リコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を身につけ、音色や奏法の特徴を活かして演奏している。 b:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 c:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ミュージカル・ナンバーを歌おう	【歌唱】 Memory OhHappy Day 【鑑賞】 キャッツ 天使にラブソングを2	○	○	○	○	a:歌詞の言葉の意味、歌詞が表す背景や心情などを曲想とかかわらせて感じ取っている。 b:自分なりのイメージを持ち、楽曲にふさわしい表現を工夫している。 c:音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようにかかわりあっているかを感じ取り表現している。 d:ミュージカルや映画などを鑑賞し、言葉の多様性を理解して、その良さを味わう。	観察 ワークシート 演奏の聴取

1学期	音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取ろう	【鑑賞】 交響曲第九番(合唱付き)/ラ・カンパネッラ/組曲《動物の謝肉祭》	○			○	a:様々な楽曲の鑑賞を通して、声や楽器の音色の特徴と表現上のかかわりを感じ取っている。 d:楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者及び編曲者による表現の特徴があることを理解している。	観察 ワークシート
2学期	表現を工夫しながら重唱や合唱をしよう	【歌唱】 サザエさん	○	○	○		a:一人ひとりが主体的・積極的に歌い、各声部のかかわりやハーモニーを意識して、アンサンブルの喜びを味わっている。 b:共通のイメージをもちながら、楽曲にふさわしい表現を心がけている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏に挑戦しよう	【器楽】 《さくら》変奏曲	○	○	○		a:箏の音色や奏法の特徴を理解している。 b:箏の音色や奏法の特徴を活かして演奏している。 c:表現を工夫しながら演奏している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ロック・バンドに挑戦しよう	【器楽】 Smoke On The Water	○	○	○		a:バンドで使われる各楽器の音色や奏法の特徴に興味をもち、理解している。 b:共通のイメージをもちながら、楽曲にふさわしい表現を心がけている。 c:アンサンブルの中で自分の役割にふさわしい表現をしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	作曲や編曲に挑戦しよう	【創作】 音階を選んで旋律をつくろう	○	○	○		a:言葉のアクセントやリズムを手掛かりにして２～５つの音を用いて旋律を作っている。 b:音楽を形つくっている要素を変化させたり、別の旋律をつけたりして、イメージをもって編曲を工夫している。 c:作品を記録する方法を工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	文化的・歴史的背景を理解して、日本の伝統音楽やオペラを鑑賞しよう	【鑑賞】 舞楽《陵王》/能《道明寺》 オペラ《カルメン》	○			○	a:物語の情景や登場人物の心情について、どのような声や楽器の音色で表現しているかなどについて比較しながら鑑賞している。 d:演奏者による違いなどについて、鑑賞した後に批評文を書いたり、感想を述べ合っている。	観察 ワークシート
	独唱に挑戦しよう	【歌唱】 Caro mio ben Heidenroslein	○	○	○		a:姿勢や身体の使い方、呼吸法などに気をつけて歌っている。また、言葉の意味や歌詞が表す情景や心情と言葉とのかかわりを考え、曲想をとらえて、各フレーズ等にふさわしい表現を工夫している。 b:独唱と斉唱や合唱との表現上の効果の違いを考え、自分なりのイメージをもって独唱にふさわしい表現を追及している。 c:伴奏楽器の音も意識して、よいアンサンブルを目指している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。